

## 平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	女性のための再チャレンジプログラム 医療事務講座		
法人名	学校法人ティビィシィ学院		
学校名	国際テクニカルデザイン専門学校		
代表者	理事長 齋藤 武士	担当者 連絡先	小谷野 敦子 TEL 0285-31-0113
<p>1. 事業の概要</p> <p>歯科以外の診療科を掲げる医療機関における診療報酬請求事務の仕組みについて学習し、さまざまな症例カルテから診療報酬明細書を実際に作成することで、医療事務という職業の実務内容を習得し、就・転職に有効となるような講座とする。 講座修了時には、技能認定振興協会主催「医科医療事務技能認定試験」を受験し、「医科医療事務管理士」の資格を取得することを目標とする。</p> <p>受講者内訳(全て女性)11名 20代…6名 30代…3名 40代…2名</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況 医療保険制度や診療報酬の算定など、一般事務とは一線を画した専門的な内容となるため、基礎理解に重点を置き、一般的に発生頻度が高い症例を使用することにより、初学者でも無理なく学習を続け、検定試験受験レベルまで達することができた。 授業時間内でカバーしきれない問題演習については、講座の進行状況に応じて各自自習を指示したが、個人差はあるが比較的しっかり取り組んでいる様子が伺えた。</p> <p>②事業により得られた成果 3月22日(土)に受験した試験結果がまだ出ていないため、合格率のデータがない状況ではあるが、問題演習を重ねることにより、あらゆる症例のカルテを読み取り、診療報酬明細書の作成ができるようになった。 医療機関への就労意欲も見られた。</p> <p>③今後の活用 昨今の医療事務業務の複雑化、分業化の傾向に合わせ、歯科医療事務や調剤事務に関する講座と組み合わせ、より幅広いスキルを習得できる講座へと内容を充実させていけるようにする。</p> <p>④次年度以降における課題・展開 今年度は夜間1コースのみの実施であったため、今後は複数のコース設定をし、通学しやすい環境を提供する。 また、授業時間内にもう少し問題演習の時間を確保し、各受講生の理解度をチェックできるよう、カリキュラムを見直す。</p>			

### 3. 事業の実施に関する項目

**【テーマ】**

初学者が短期間で医療事務業務に必要な知識・スキルを身に付け、学習の成果として、医療事務技能認定試験を受験し、合格が見込めるレベルまで到達できるような講義を展開する。

**【期間】**

平成20年1月7日(月)～平成20年3月19日(水) 総時間数75時間

**【受講者数・受講者の属性】**

20代が6名・30代が3名・40代が2名の計11名で全員が女性であった。  
属性としては、現在求職中が4名・子育て中が2名・医療機関勤務が3名・一般企業勤務が2名であった。

**【場所】**

当校教室

**【受講者の反応】**

出席率がよく、講義自体は遅延なく進めることができた。  
授業時間外の自宅学習も自らよく実施している受講生が多かった。  
内容においては、薬剤の計算、年齢や時間帯による加算等、工程が複雑な箇所においては、理解度・算定にかかると個人差が見受けられた。

**【就業状況】**

受講申込時(上記「受講者の属性」と同じ)